

(別表1) 子育て支援員基本研修

- 1 受講者想定数 150名
- 2 受講会場 東・北信、中信、南信の計3会場
- 3 研修日数等 受講生の負担にならない研修日程、研修時間とすること。
- 4 受講科目

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
1. 子ども・子育てに関する制度や社会状況における子育て支援事業の役割を捉えるための科目				
①子ども・子育て家庭の現状	講義	60分	<p><子ども・子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解></p> <p>①子どもの育つ社会・環境</p> <p>②子育て家庭の変容</p> <p>③子どもの貧困及び子どもの非行についての理解</p>	<p>①子ども・子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。</p> <p>②家庭の意義と多様な子ども・子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。</p> <p>③子ども・子育て家庭の支援について理解する。</p> <p>④子育て家庭の貧困や非行などの背景の概要について理解する。</p>
②子ども家庭福祉	講義	60分	<p><子育て支援制度の理解></p> <p>①子ども・子育て支援新制度の概要</p> <p>②子ども家庭福祉施策等の理解</p> <p>③子ども家庭福祉に係る資源の理解</p>	<p>①子ども家庭福祉施策・制度の概要(子ども・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等)について理解する。</p> <p>②児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。</p> <p>③子ども家庭福祉に関する地域資源の概要(地域の人材確保を含む)について理解する。</p>
2. 支援の意味や役割を理解するための科目				
③子どもの発達	講義	60分	<p><子ども・子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解></p> <p>①発達への理解</p> <p>②胎児期から青年期までの発達</p> <p>③発達の援助</p> <p>④子どもの遊び</p>	<p>①子どもの発達を捉える観点について理解する。</p> <p>②子どもの発達(「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」)の概要について理解する。</p> <p>③生涯発達の概要について理解する。</p> <p>④子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。</p> <p>⑤「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。</p>
④保育の原理	講義	60分	<p><子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解></p> <p>①子どもという存在の理解</p> <p>②情緒の安定・生命の保持</p> <p>③健康の保持と安全管理</p>	<p>①発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。</p> <p>②情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。</p> <p>③子育て支援事業における安全対策や危機管理の必要性について発達との関連を踏まえて理解する。</p>

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
⑤対人援助の 価値と倫理	講義	60分	<p><子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解></p> <p>①利用者の尊厳の遵守と利用者主体</p> <p>②子どもの最善の利益</p> <p>③守秘義務・個人情報の保護と苦情解決の仕組み</p> <p>④保護者・職場内・関係機関・地域の人々との連携・協力</p> <p>⑤子育て支援員の役割</p>	<p>①対人援助の価値について理解する。</p> <p>②子どもの最善の利益について理解する。</p> <p>③対人援助の倫理について理解する。</p> <p>④保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性について理解する。</p> <p>⑤子育て支援員の役割について理解する。</p>
3. 特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目				
⑥児童虐待と 社会的養護	講義	60分	<p><子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解></p> <p>①児童虐待と影響</p> <p>②虐待の発見と通告</p> <p>③虐待を受けた子どもに見られる行動</p> <p>④子どもの権利を守る関わり</p> <p>⑤社会的養護の現状</p>	<p>①児童虐待（家庭における配偶者等からの暴力（DV）を含む）とその影響（虐待を受けた子どもに見られる行動など）について理解する。</p> <p>②虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。</p> <p>③子どもの権利保護の基本的視点について理解する。</p> <p>④社会的養護の意義と現状の概要について理解する。</p> <p>⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する。</p>
⑦子どもの障 がい	講義	60分	<p><子育て支援（対人援助）を行うための援助原理の理解></p> <p>①障がいの特性についての理解</p> <p>②障がいの特性に応じた関わり方・専門機関との連携</p> <p>③障がい児支援等の理解</p>	<p>①障がい特性の概要について理解する。</p> <p>②障がい児支援制度の概要について理解する。</p> <p>③障がい特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。</p> <p>④障がい児支援等の現状について理解する。</p>
4. 総合演習				
⑧総合演習	演習	60分	<p>①子ども・子育て家庭の現状の考察・検討</p> <p>②子ども・子育て家庭への支援と役割の考察・検討</p> <p>③特別な支援を必要とする家庭の考察・検討</p> <p>④子育て支援員に求められる資質の考察・検討</p> <p>⑤専門研修の選択など今後の研修に向けての考察・検討</p>	<p>①履修した内容についての振り返りを行うためのグループ討議。</p> <p>②子育て支援員に求められる資質についての理解の確認。</p> <p>③履修した内容の総括と今後の課題認識の確認。</p> <p>※内容欄のテーマをもとに、研修効果の定着を図るために上記①～③のいずれかの振り返りを行う。</p>